

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 4 部門第 1 区分
【発行日】 平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公開番号】 特開 2005-325548 (P2005-325548A)
【公開日】 平成 17 年 11 月 24 日 (2005.11.24)
【年通号数】 公開・登録公報 2005-046
【出願番号】 特願 2004-142963 (P2004-142963)
【国際特許分類】

E O 2 D 3/12 (2006.01)

【F I】

E O 2 D 3/12 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 3 月 2 日 (2007.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 請求項 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【請求項 4】

掘削軸に、掘削翼本体より上方位置に、回転時に土を押さえて共回りを防止する角度に傾斜させて掘削軸から放射状に延びる共回り防止部材が固着されていることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の攪拌装置の攪拌ヘッド。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

請求項 4 の発明では、

前記掘削軸に、掘削翼本体より上方位置に、回転時に土を押さえて共回りを防止する角度に傾斜させて掘削軸から放射状に延びる共回り防止部材が固着されていることを特徴とする。

請求項 5 の発明では、

前記共回り防止部材の傾斜角度が掘削翼本体とは逆方向で 10 度に傾斜させてなることを特徴とする。

請求項 6 の発明では、

前記共回り防止部材の放射状の配置が、掘削軸の直径の両端延長方向に延出して直線状に配置されることを特徴とする。

請求項 7 の発明では、

前記掘削軸の上部に放射状に延びる攪拌翼が形成されていることを特徴とする。